



# 積み木ワーク ショップ報告会

Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION



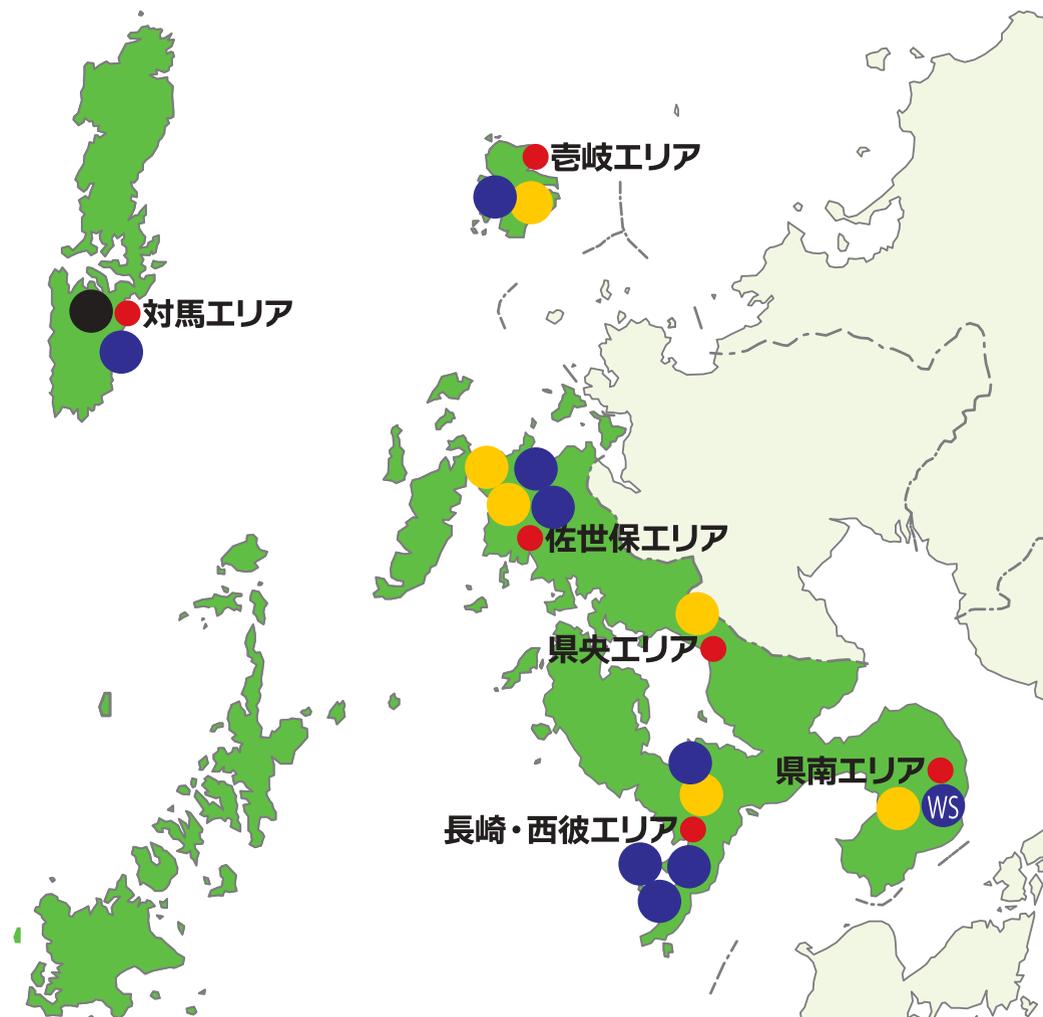
一般社団法人長崎環境まちづくり社中

2022 年度年度事業

## 合計凡そ400名の皆様にご参加頂きました

- 積み木切り出し事業所:1か所
- 積み木研磨事業所:6か所
- 積み木ワークショップ実施数:8回

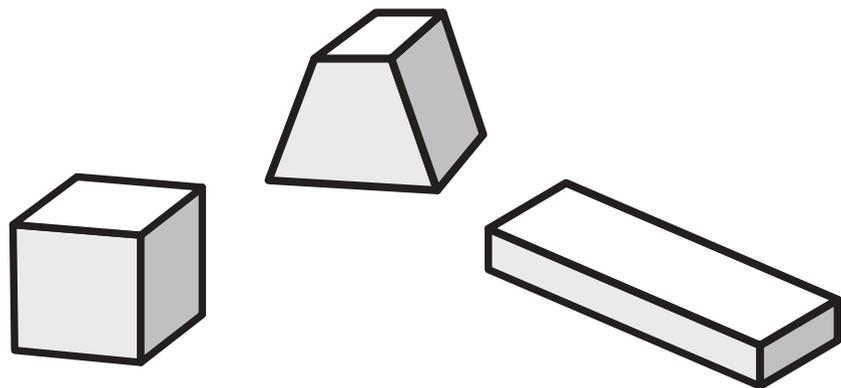
幼稚園（松円幼稚園+たるま会、佐世保市）  
 小学校2年生（山里小学校、長崎市）  
 小学校4年生+通所者（島原第二小学校、島原市）  
 小学校全学年+通所者（八幡小学校+結の会、壱岐市）  
 小学校全学年（学童保育、対馬市 天候不良で期間内実施未達）  
 高校3年生（海星高等学校、長崎市）  
 成人通所者（アトリエらぼ、長与町）  
 高齢者（岩屋町自治会老人部、長崎市）



対馬島内の89%の面積を占める対馬森林。その豊富な対馬ヒノキを使って積み木を製造。未利用の資材も多く、島内では消費しきれない状況もある。

そこで、対馬市で活動している、地球温暖化防止活動推進員の方が運営されている社会福祉法人米寿会「杉の木ホーム」切り出しを委託。

3種類のパーツ合計、10,000ピース切り出した。



### Inside story -なぜ対馬?・なぜ3種類の形状?-

米寿会の米田氏とは、以前地球温暖化防止普及啓発活動を行った際に事務局とその推進員ということからのお付き合い。環境啓発に関する事業を一緒に行った経緯があった。そして、対馬ヒノキは良質であり頑丈。厳しい環境下で育つ対馬ヒノキは木の目が詰まり、硬くて丈夫。その上とても香りが良い。しかしながら、離島ということで送料がかかり、未利用の部分が多い。この素晴らしい対馬ヒノキをもっと皆さんに知ってほしい。その思いから、私たちは対馬ヒノキを選んだ。

この積み木の形状は3種類。立方体、直方体、そして曲線を作れるように、台形柱を導入することで、自由な造形が可能となった。何より、単純な形状であることで、障がい者でもそれほど苦勞なく作業ができることを考慮した。

### なぜ6拠点か？

小規模の製材所で10000ピースを切り出し、各事業所が受託可能なピースが1500ピース前後。そして各事業所で研磨加工するのに、だいたい2～3週間かかる。障がい者支援施設は、小規模で一度に沢山の数をこなせないことから県内各地で分散作業を行った。障がい者の雇用機会創出と技能訓練に幾ばくかでも寄与したい。

- ・全体工程を考えて6拠点を選出
- ・地球温暖化防止活動推進員がいる拠点で、特に、学校での活動が活発な拠点を選定
- ・大村は県内の中央、空港にも近く、ワーキングヒルズがもともと木工作業をやっていること、障がい者雇用に積極的なことから依頼



### 依頼先

合同会社虹いろのたね アトリエらぼ（長与町）  
社会福祉法人飛翔会 ワーキングヒルズ（大村市）  
社会福祉法人島原市手をつなぐ育成会 ネットワークひかり（島原市）  
社会福祉法人佐世保市手をつなぐ会 であいの家（佐世保市）  
特定非営利活動法人だるま会（佐世保市）  
社会福祉法人結の会（壱岐市）



A

## 想像を形にする ひろげよう、つなげよう

対象：小学校2年生以下  
五感を使った造形遊び  
五感を使った自己表現

### ねらい

造形遊びを通じて、身近な環境(家の中やまち)について認知するきっかけを得る。他者との関係性を認識しながら、協調を知る。

### プログラム概要

動画を見て、地球の今を知る。  
ずっと住み続けられるみんなの「まち」を積み木で作る。  
まちに必要な「どうる」でつなぐ。  
最後にみんなが一緒に住める「いえ」を作る。

### 成果

自分の世界に没頭しながら、他者の造形物との接続を果たすために協調。  
造形物の意味を自他ともに認識して、関係性を理解。

B

## 意識を高める 長持ちするまちづくり

対象：小学校4年生以上  
アウトプットメイン。自分の意見を形にして他者と情報交換

### ねらい

まちづくりを通じて、持続可能なまちとは何かを意識する。他者との関係性を認識しながら、協調を知る。

### プログラム概要

動画を見て、地球の今を知る。  
二酸化炭素による温暖化と気候変動を知る。  
ずっと住み続けられるみんなの「まち」を積み木で作る。

### 成果

地球温暖化や気候変動に向けた対策を考え、自分の意見を表現することが可能。

C

## チームを作る 持続可能なまちづくり

対象：高校生以上  
立体型企画提案。自他の表現を接続して一つにまとめる

### ねらい

実際の政策方針を自分なりに理解し、自分の住むまちの未来像を作る

### プログラム概要

長崎市「重点プロジェクトの取組」にある事業概要を読み込んで、具体的なまちの姿を考え、積み木を使って提案する

### 成果

立体的な積み木を使った新しい提案プレゼン手法の実践。  
短時間でアイスブレーキングとワークショップが可能。

松円幼稚園児（佐世保市）たちと、  
だるま会通所者との  
合同ワークショップ

## ストーリー

自由につくろう。  
それは何かな？

考えよう  
そしてそれを  
みんなでつなげよう



園児たちは自由に積み木を広げています



園児たちはお隣の建物とつなげ始めました。高低差があるのがすごい！

障がいのある方とも自然に打ち解けて楽しむ園児



高さのある建物にも挑戦！自然と助け合いが生まれていきます。

### ●事例1 合同ワークショップ

松円幼稚園児たちと、だるま会通所者との交流

### ●事例2 山里小学校2年生造形遊び

図画工作教諭が中心となり、1学年3クラス100名超で実施

おうちをつくろう、  
みんなでつなげよう  
まちには何がある？

- 事例1 合同ワークショップ  
島原第2小とネットワークセ  
ンターひかり (B型支援施設)
- 事例2 アトリエらぼ(B型支援施設)
- 事例3 山里小学校



## 展開

まずは、思い思いに自分のおうちを作ります。  
まちは自分のおうちだけじゃないよね？  
お隣とお友達になりたいね。つなげてみよう。  
まちの中には何があるかな？

## むすび

自分の住みたい家から想像性を養い、隣  
人と協力することでチームビルディング  
が形成されます。まちの中に必要なもの  
を考えます。

海星高等学校

岩屋町自治会老人部

## ストーリー

ワークショップ前にみんなで持続可能なまちについて話し合います。計画を立ててみんなでまちをつくります。プレゼンテーションは積み木。自分たちの未来のまちを立体的に表現します



## 展開とむすび。

このワークショップは高校生、そして最高齢の大正13年産まれ  
の素敵なお婦人が参加しました。年齢に関係なく、自分のまちについて  
考え、これからも伝えたいもの、未来について積み木を使って表現しました。

## 多くの人がかかわった積み木の製造とワークショップ

多様な人々とふれあって、完成したこの「ながさき積み木」と「ワークショップ」。障がい者、高齢者、幼児などこれまで「ワークショップ」参加とは無縁だった多様な人々を、「製造」という過程から巻き込み、さらにこれまでは製造者が自らの作品を製品を使う機会にも恵まれず、一方向的に製造者から利用者になってみることで、利用者の反応や楽しさを発見し、その発想が「共生社会の実現」において主軸となる重要な考えの一つであると感じることができた。

このような機会から除外されてしまうのは決して「社会的弱者」だけではなく、お腹の大きい妊婦さんが感じる日常の孤立感や、我々が外国に行ったときに感じる言語による不自由さの要因も、言語を使わずコミュニケーションを取ることができるこの「積み木」は有用なのかもしれません。

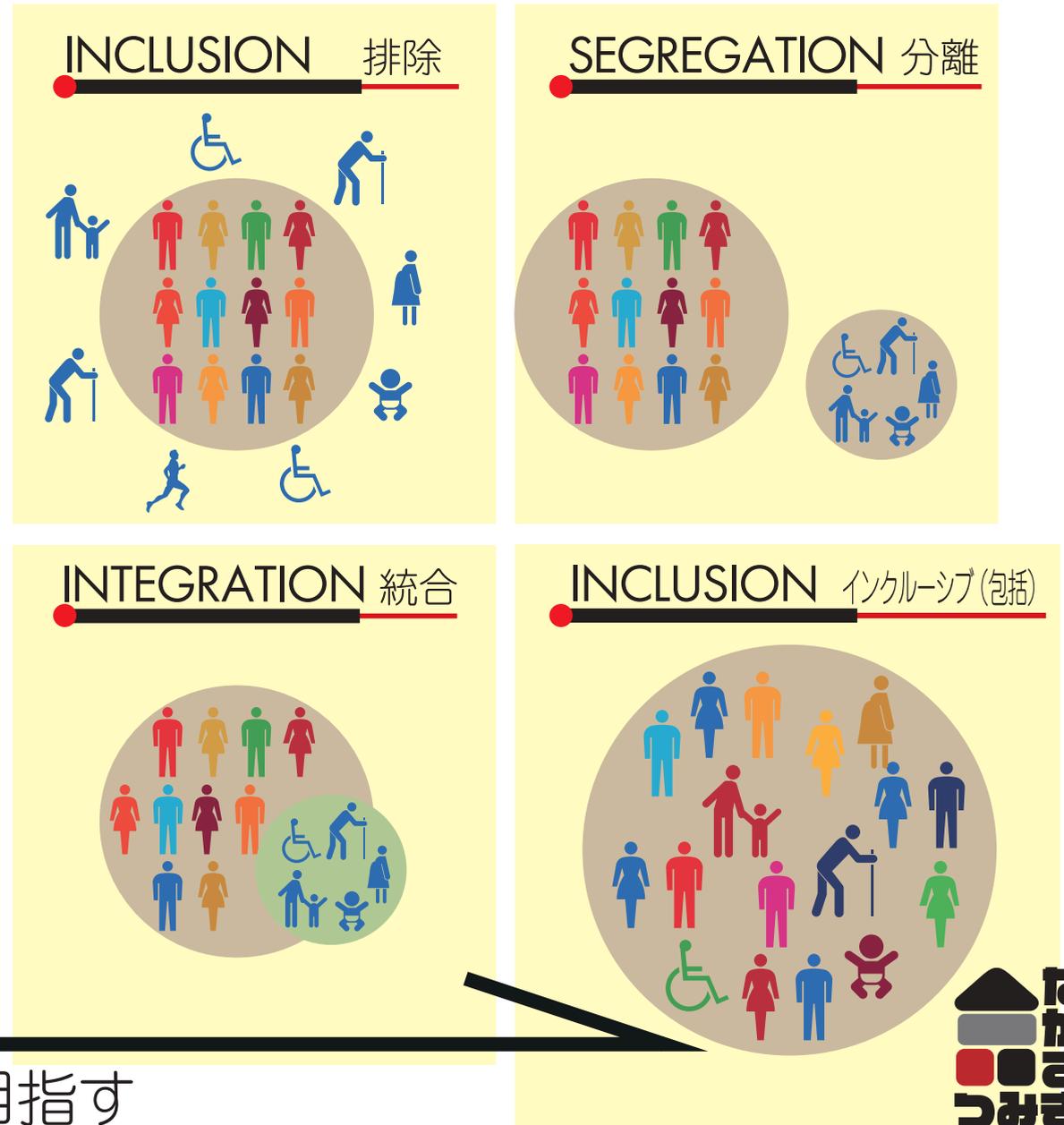
本当の意味で多様な人のニーズに応える、優しさに溢れた製品、あるいはプログラムになったのか？  
それをまずは体験すべく、障がいをもつ方々を含め多様な人々の参加の元ワークショップが開催できました。  
そしてこれからも更なる製品の改良と多くの方々に参加頂けるよう、邁進いたします。



インクルージョンな社会を目指す

## インクルーシブなワークショップメニュー開発

3つの基本プログラムと、習熟度に応じた3つのバリエーション



- だれもが参加できる仕組みの構築  
長崎県内のどのまちでも、ワークショップが開催できる仕組み
- 長崎県産材を使った積み木の製造  
地域の木材を利用した積み木製造  
就労支援施設や授産施設での加工
- 人材育成  
ワークショップ運営人材の育成
- ビジネス利用分野の開拓  
チームビルディングや政策研修、社内コンペ向けのプログラム開発と提供  
合同ワークショップを通じた、SDGsやインクルーシブ社会の学習

## コミュニケーションツールとして

積み木遊びをしながら、真面目な話題をざ気軽に話し合える雰囲気を作ることができます。

## アイスブレイキングツールとして

言葉ではなく立体的な形で、自分の考えを、誰でも簡単に表現することができます。

## チームビルディングツールとして

積み木の使い方を通じて、参加者の個性や価値観ならびにリーダーシップなどを把握できます。

## 癒しのある脳トレツールとして

ヒノキの「香り」と、積み木が触れ合うときの「音」、そして木の「手触り」の中で参加者は、思ったことを形にして「見せて」、周囲の人に「言葉」で表現することができます。





# 積み木ワーク ショップ報告会



一般社団法人長崎環境まちづくり社中

## 長崎事務所

〒852-8117 長崎市平野町1-4-15  
TEL:095-801-3626 FAX:095-801-3627  
do@create-nagasaki.org

## 佐世保事務所

佐世保市地球温暖化防止活動推進センター / させぼエコラボ  
〒857-0851 長崎県佐世保市稻荷町1-8 (佐世保市環境センター内)  
TEL:0956-76-8553 FAX:095-804-5374  
support@ecollabo.org